



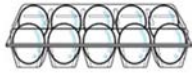

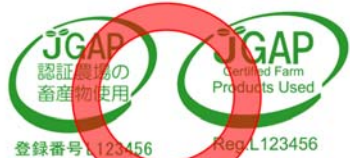
JGAP農畜産物使用ロゴマークの使用に関する

識別管理のポイント

～牛肉・豚肉～

商品へのJGAPロゴマーク表示

- カット、加工された商品である「精肉」や「食肉加工品」、GPセンターを通して出荷された「鶏卵」の包装・梱包資材に使用できるのは、「JGAP農畜産物使用ロゴマーク」です。

商品へのロゴマークの表示例	
対象商品(認証農場産の畜産物を使用した商品)	
	
	
表示不可	表示可能
 <p>登録番号 L123456789 Reg.L123456789</p>	 <p>登録番号 L123456 Reg.L123456</p>
<p><JGAP認証プログラムロゴマーク></p> <p><JGAP認証農場ロゴマーク></p>	<p><JGAP農畜産物使用ロゴマーク></p>

- トレーサビリティとは、食品(家畜)の移動を把握できることを意味します。万が一、事故などが起きた時に、記録・経路を確認することにより、原因究明にもつながります。
- 商品に「**JGAP農畜産物使用ロゴマーク**」を表示するには、JGAP認証農場産の原材料を使用していることを確実にするため、トレーサビリティを確保する必要があります。

2

(参考)食品トレーサビリティ「実践的なマニュアル」



この他、取組手法編、製造・加工業編、卸売業編など様々な業種編があります。

取り組み事例なども紹介していますので、トレーサビリティへの取組みに、こちらも参考にしてください。

3

入荷・出荷伝票等の記録の保存 チェックリスト※1

表 7.1 法令に基づく記録の保存期間

法令等	対象	保存期間
食品衛生法第3条第2項にもとづく食品等事業者の記録の作成及び保存に係る指針	食品等事業者それぞれの、仕入れ元・出荷・販売先等に係る記録、殺菌温度や保管時の温度等の製造・加工・保管等の状態の記録	事業者が取扱う食品等の流通実態(消費期限または賞味期限)に応じて合理的な期間を設定する。 多種多様な食品を仕入、出荷、販売等する事業者であって流通実態に応じた保存期間の設定が困難な場合については、その区分毎に次の期間を参考として設定する。 ・生産段階: 販売後1~3年間 ・製造、加工段階: 販売後1~3年間 ・流通段階: 販売後1~3年間 ・販売段階: 販売後1~3か月
米トレサ法	法の対象となる米・米加工品の入出荷記録	3年間 ただし消費期限が付された商品については3か月、賞味期限が3年を超える商品については5年
牛トレサ法	牛の個体識別番号を含む入荷・出荷等の記録	1年ごとに閉鎖し(とりまとめ)その後2年間保存
法人税法施行規則第59条、第67条(法人) 所得税法施行規則第63条、第102条、第103条(青色申告者、白色申告者)	取引に関して、相手方から受け取った注文書、契約書、送り状、領収書、見積書その他これらに準ずる書類及び自己の作成したこれらの書類でその写しのあるものはその写し	法人は7年間、青色申告者と白色申告者は5年間

記録の保存方法は伝票などの紙媒体、データの電子媒体とがあります。

記録類は、取り扱う食品の法令、賞味期限、または消費期限に応じて合理的な期間を設定し、保存してください。

基本 取組事例3：入出荷伝票等を日付順・入出荷先別に整理して保存

入出荷の伝票を日付順や入出荷先別に整理しておく、請求書作成・支払確認のためだけでなく、食品事故が発生したときなど、いざというときの追跡・適及調査が迅速になります。

日付ごとに整理保存

取引先ごとに整理保存

「ファイルにつづる」といった整理が難しい状況でも、一定期間は捨てないこと、箱に入れるなどして保存場所をまとめておくこと、そして保存場所を決めておくことが重要です。

出典: 食品トレーサビリティ「実践的なマニュアル」抜粋

入荷・出荷伝票等の記録の保存 チェックリスト※1

チェックリスト※1

(3) 入荷ロット番号の表示方法の決定 どのように番号を表示するか決めましょう

(表示方法の例)

130827TK

手書き

バーコード

ラベル

例: 手書きラベルを貼付 (パレット毎に1枚)

(品名、産地名は、外箱の表示を活かす)

(4) 入荷ロット番号の記録様式の決定 どの様式で記録するか決めましょう

(記録様式の例)

「入荷の記録」

新たに様式を作成

「取組手法編」の様式

…「取組手法編」p.3 参照

例: 納品書 (「入荷の記録」)を活かす (新たな記録はしない)

〔ロットの定義である【品名、産地、入荷日、入荷先】がすでに記載されているため〕

(5) 記録の保存方法の決定 「7.1 記録の保存」を参照

(記録媒体の例)

紙媒体

電子媒体

例: 納品書 (「入荷の記録」)に賞味期限を記入

ロットの定義のうち、【商品種類、入荷日、入荷先】については、すでに記載されているため

○記録を保存する

※ 納品予定数量と実際に届いた納品数量は、複数人または機械(システム)と人で2重にチェックできる対策をしてください。

出典: 食品トレーサビリティ「実践的なマニュアル」抜粋 5

<識別表示例>

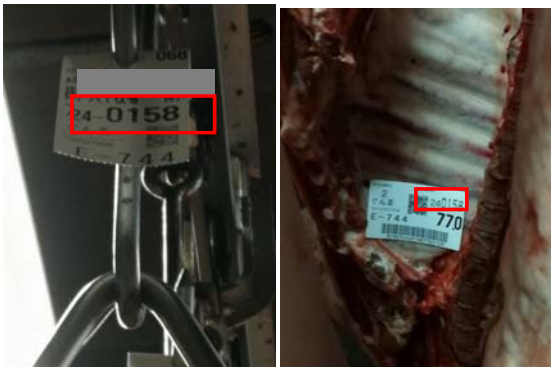
- ・出荷伝票等にロット番号/個体識別番号(牛)とJGAP認証の有無を記載してもらう(する)
- ・出荷伝票にロット番号/個体識別番号(牛)と**認証農場名**を記載してもらう(する)
- ・ラベルにJGAP認証の表示をしてもらう(する)
- ・箱に**認証農場名**またはJGAP認証農場産であることを表示してもらう(する)
- ・食肉標準物流バーコードを利用してJGAP認証取得の有無を表示してもらう
- ・JGAP認証取得の証明書など、生産者を確認できる書類を添付をしてもらう(する)
- ・ラベルに記載の個体識別番号(牛) → 農場名から識別 → [JGAP農場検索](#)

※「**認証農場名**」は認証書に記載されている登録農場名または登録番号を正しく記載してもらうこと

6

個体/ロットの識別管理(枝肉)

<枝肉ラベルの貼付例>



<紙媒体による識別方法の例>



- ・枝肉のフックや枝肉自体に識別表示をして個体/ロット管理を行う
- ・紙が剥がれないよう(なくなる)対策を取る
- ・複数個所に表示して剥がれた時の対策を取る
- ・(可能であれば)ロット単位でレーンを区別する

7

個体/ロットの識別管理(枝肉)

<識別表示例>



2019年3月1日

〇〇株式会社御中

納品伝票

〇〇食肉センター

枝肉番号	品名	重量	生産農場
240158	豚枝肉	77.0	〇〇農場(JGAP認証)
240159	豚枝肉	77.0	〇〇農場(JGAP認証)
240160	豚枝肉	78.0	〇〇農場(JGAP認証)
240161	豚枝肉	79.0	〇〇農場(JGAP認証)
240162	豚枝肉	76.0	〇〇農場(JGAP認証)

- ・納品(出荷)伝票に枝肉番号/個体識別番号(牛)とJGAP認証の表示や**認証農場名**の記載を
出荷先にお願ひする
- ・ラベルや出荷(納品)伝票に、**認証農場名**、個体識別番号(牛)の記載だけであれば、
「JGAP農場検索」(日本GAP協会ウェブサイト)を利用して認証農場であることを確認する

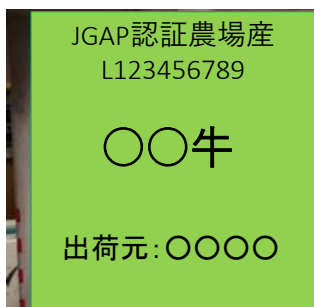
個体/ロットの識別管理(部分肉)

<識別表示の例>

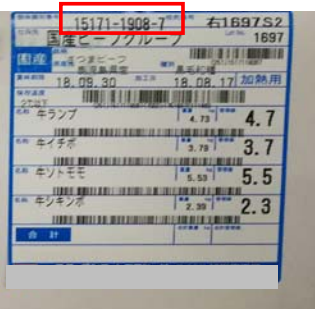
入荷予定表と商品の個体識別番号やロット番号等を照合



↓箱に表示ラベル



↓個体識別番号



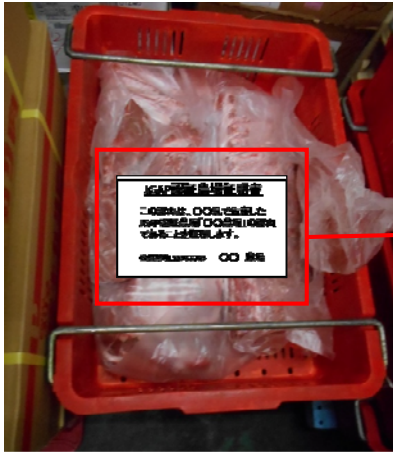
↓ラベルに表示



個体/ロットの識別管理(部分肉)

< JGAP認証農場の証明書の場合 >

- ・JGAP認証取得の証明書など、生産者を確認できる書類を添付をしてもらう(する)
 ※「認証農場名」は認証書に記載されている登録農場名を正しく記載してもらうこと



JGAP認証農場証明書

この豚肉は、〇〇県で生産した
JGAP認証農場「〇〇農場」の豚肉
であることを証明します。

登録番号L123456789 〇〇 農場

食肉標準物流バーコードの利用

< 枝肉ラベル > の表示例

畜種・品種 黒毛和種	原産地 東京都
個体識別番号 1234567895	枝肉番号 1010 右
と畜日 03.11.28	重量 121.0 kg
 <small>(251)1234567895(11)031128(3101)001210(7002)99910102111130</small>	
株式会社東京畜産センター <small>東京都千代田区千代田1-1-1</small>	



<部分肉ラベル>の表示例



b. 基本バーコード(必須)

基本的な項目を表示するバーコード



c. 補助バーコード

以下の項目から必要とする情報を選択してバーコード表示することができる。



出典:(公社)中央畜産会「国産牛肉トレーサビリティ導入手引書」抜粋

食肉標準物流バーコードの改訂

①補助バーコードの「(7002)名称:枝肉番号」JAS区分の名称変更し、区分コードを追加する。

②名称変更:生産情報公表食肉JAS認証、GAP認証等食肉であることを示す「認証区分」とする。

③区分コードの追加:4. 5. 6を追加する。

0:一般(認証なし)

1:生産情報公表JAS認証

4:GAP取得チャレンジシステム確認済農場

5:GAP認証

6:生産情報公表JAS認証+GAP認証

××× ○○○○ ▲ □ ●● △△ ■ 計14桁
工場番号 枝肉番号 左右区分 畜種 品種 原産地 認証区分

<識別対策例>

- ・作業計画書(指示書)や識別ラベルなどで、原材料を[個体/ロット]単位で確認できる
- ・カット作業を行う際の部位の順番が決められていて、[個体/ロット]の切り替わりが明確に識別できる
- ・[個体/ロット]の最初または最後を識別できる対策をしている
- ・[個体/ロット]単位で[時間的/物理的]に仕分けしてカット作業を行っている
- ・[個体/ロット]の切り替わりの際には必ず間隔をあけていて、切り替わりが明確に識別できる
- ・1つの[個体/ロット]作業の終了後に、まな板を清掃してから次の[個体/ロット]の作業を行っている

枝肉～部分肉カット工程の識別管理<例>

ライン別作業指示書

加工日 2018/07/26

加工ロット	頭数	加工ロット	頭数
1136	1.0	1197	2.0
1001	20.0	1201	5.0
1002	20.0	1364	1.0
1004	3.0	1468	2.0
1021	0	1176	15.0
1022	0		
1023	0		
1024	0		
1036	1.0		
1076	3.0		
1056	12.0		
1101	2.0		
1102	2.0		
1103	1.0		
1104	1.0		
1126	1.0		
1127	3.0		
1132	1.0		
1377	1.0		
1307	3.0		
1330	2.0		
1141	10.0		
1191	3.0		
1193	2.0		
1194	2.0		

【確定項目】



ロットの先頭に指示書
各作業担当者が頭数(15)を確認



前のロットの最後 — バラ
次のロットの先頭 — 肩
→ パーツでロットの切り替えを識別

枝肉～部分肉カット工程の識別管理<例>

- ・札、ラミネート、シールを使ったロット管理
- ・札、ラミネートに関しては休憩毎に枚数を確認し異物混入ないように注意



16

枝肉～部分肉カット工程の識別管理<例>

- ・[個体/ロット]の最初または最後を識別できる対策をしている



ロットの最後を、一部脂を剥いて識別

背脂をのせる



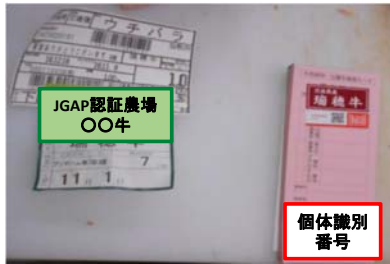
シートをまく

シートをまく

シートをまく

17

部分肉～精肉カット工程の識別管理＜例＞



個体/ロットの識別ラベルの確認



個体/ロットごとに識別して作業



次の個体/ロット作業の前に
まな板を清掃する
不要なラベルは片づける



個体/ロットの識別表示



1トレイに1個体/ロットで管理

加工途中原料の管理＜例＞



- ・原料を使いきらずに戻す場合は、必ず識別ラベルをつける
- ・冷蔵庫内は乱雑に入れると「表示間違い」の原因になるので整理整頓を心掛ける
- ・加工中の部分肉は、個体/ロットごとに箱で管理する

作業後の識別管理(部分肉) チェックリスト※4

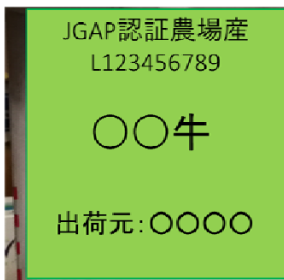
<識別表示例>

・カットした部分肉の包装・梱包資材に、識別できるラベル等を貼付する

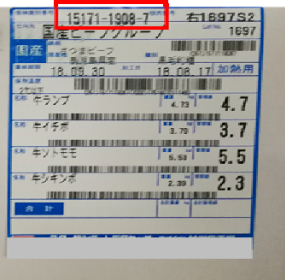


部分肉の包装資材にラベルを貼付 →

↓箱に表示ラベル



↓個体識別番号



↓ラベルに表示



20

作業後の識別管理(精肉) チェックリスト※4

<識別表示例>

・カットした精肉の包装資材に、JGAP認証農場産であることを表示する

JGAP農畜産物使用
ロゴマークの表示



<ロゴマーク表示の注意点>

- ・日本GAP協会に申請し、ロゴマークの使用許諾、表示デザインの承認を得ている
- ・登録番号が読める
- ・ブランド名/商品名より目立たない
- ・登録番号などのロゴマークデザインを勝手に変更しない(色以外)

文字による
JGAP認証
の表示

21

○ JGAP / ASIAGAP
農場検索
←
認証農場 / 取組開始農場

日本GAP協会 (JGF)
<http://jgap.jp/>

『JGAP/ASIAGAP認証農場』と『JGAP/ASIAGAP取組開始農場・団体』について、下記ボタンをクリックして、検索することが出来ます。

『認証農場』検索

『取組開始農場・団体』検索

JGAP/ASIAGAP認証農場とは
第三者機関の審査により、JGAP/ASIAGAPが正しく導入されていることが確認された農場のことを指します。

JGAP/ASIAGAP取組開始農場・団体とは
認証を取得することを目指し、JGAP/ASIAGAPの取り組みを開始したことを自ら宣言した農場・団体のことを指します。
※取組開始農場・団体の新規受付は終了しました。
[JGAP/ASIAGAP取組宣言受付終了について](#)

▲ ページトップに戻る

※ 「登録番号(L + 9桁)」または「農場名」で検索できます。

『JGAP/ASIAGAP認証農場』検索

①登録番号から検索

商品に表示されたJGAP/ASIAGAPマークの登録番号(下図の赤枠部分)を入力し、検索ボタンを押してください。

※何も入力せずに検索ボタンを押すと、全ての認証農場の一覧が表示されます。
※下図は見本です。実在する登録番号ではありません。

登録番号



登録番号 **L123456789**



登録番号 **L123456789**



Reg **A123456789**

②条件から検索(1つの項目からでも検索できます)

※何も入力せずに検索ボタンを押すと、全ての認証農場の一覧が表示されます。

農場名	<input type="text"/>
登録番号(上図参照)	<input type="text"/>
都道府県	選択しない ▼
JGAP/ASIAGAPの版	選択しない ▼
品目名(野菜)	選択しない ▼
品目名(果物)	選択しない ▼
品目名(穀物、茶)	選択しない ▼
品目名(畜産物)	選択しない ▼

